

このコーナーでは、この地域に伝わる民話を紹介し、皆さんからの感想画を募集しています。紹介する民話は、子どもたちに、ふるさとの伝説や昔話を教え、少しでも遠い祖先の心や、郷里の土地のぬくもりを感じてほしいと、松浦市教育委員会が平成4年に再編した「松浦の民話」という本から引用した話です。

つづら山の「くわんすくろばし」は、こわい所でした。うでのようにのびた木の枝が重なり合って、頭におおいかぶさり、昼でも暗い山道でした。

「くわんすくろばしにや、化けもんがおるつてばい。」

「暗かやぶの中ら、からつてけ、からつてけ、細か声でよぶちゅう。」

「となりのおじいも、その声は聞いて、腰ぬかしたつてばい。」

「こんなうわさが、村中にひろがりました。」

松浦の民話⑩

お化けつぼ

「化けもんつてや。そりやおもしろか。おりが、いっちょ、たいじしてくるる。」

こう言ったのは、村一番のこうけつおじいです。

とつぶり日が暮れるのを待つて、くわんすくろばしに出かけました。まっ暗やみです。おじいは、太い目玉をもっと太くして、ずんずんと歩いて行きました。

「さざあ。不意に頭の上の枝がゆれました。」

その時でした。

「からつてけ。」

と、細いふるえた声したのは…。

おじいは、その声の方をにらみつけてると、

「よおし、来い。そぎゃんからわれたかなら、かろうてやるせん。はよ、来い。」

と言つて、くるつと背中を向けたそです。

「ずしっ。」

背中へへばりついた化けものが、どうもこうも重たいのです。村一番の力持ちといわれるおじいも、思わすよろよろしたぐらいました。



「なあんの、化けもんは負けてたまるか。」

うんとこしょ、どっこいしょと、山を下ったそです。

やつと家について、背中のお化けもをふり落としてみてびっくりしました。なんと化けものは大きな大きなつぼでした。

あくる日、

「おじい、はよう起きて見てみんな。つぼの口が光つとるばい。」

おばはに起こされて、あわててつぼのふたを取つてみておどろきました。

つぼの中には、大ばん小ばんが、ぎっしりつまっていたのです。

おかげで、おじいの家は、お金持ちになったといふことでした。

(御厨町 田代)

■あなたの力作を募集!

— 民話の感想画募集 —

この民話を読んで感じた情景をイラストにして、必要事項を記入の上、左記まで持参、郵送またはメールにて送付してください。応募いただいたイラストは審査をし、上位のものを次の市報で紹介いたします。

【応募資格】住所、年齢、性別など何も問いません。どなたでも応募できます。

【イラストの規格】はがきまたはA4サイズ以内の白紙に絵の具やクレパスなどで書いたカラーのもの（色鉛筆の場合は濃く塗ってください）。

【必要事項】住所、氏名（ふりがな）、電話番号、年齢、職業（学校名）

※掲載する場合、ペンネームを希望する人は、ペンネームもご記入ください。

※はがきで応募される人は、必要事項を表の下部に記載してください。なお、いただいた個人情報（民話コーナー以外には使用しません）。

【応募締切】1月11日（火）必着

【応募・問合せ先】

〒8059-4508

松浦市志佐町里免365番地

松浦市まちづくり推進課

秘書広報係

☎0956-72-1111

Eメール kyo@city.matsura.jp

※福島支所、鷹島支所、そのほかの各支所でも受け付けています。

中世の松浦 (26) 鷹島海底遺跡

鷹島海底遺跡は、昭和56年に埋蔵文化財包蔵地(遺跡)として周知されてからこれまで発掘調査(緊急調査・確認調査・学術調査)が継続して行われてきました。その結果、弘安4年(1281年)の蒙古襲来に関連する遺跡であることと海底遺跡としての重要性が次第に明らかになってきました。

海底での調査は、陸上の調査と違いさまざまな制約があります。一般的に観光客が行くようなきれいな海でのスキューバダイビングとは違い、流れはきつく、透明度は約2メートルと低い悪条件の中での調査であり、潜水病にかかる危険性もあるため、1人の潜水時間も1回1時間から1時間30分で、1日の潜水も2回を原則としています。潜水調査で使用する機材はエアポンプ・コンプレッサ・高圧ポンプ・水中電話・作業船・エアリフト・スキューバ式潜水器具などがあります。

鷹島歴史民俗資料館では、この機材の一部と海底での調査風景をジオラマで展示しています。また、海底遺跡から出土した陶磁器類・石製品・鉄製品・漆製品などの遺物を通して蒙古襲来の様子とその背景が見学できます。皆さんのご来館をお待ちしています。



▲鷹島歴史民俗資料館の様子

松浦の民話イラスト

読者の皆さんから寄せられたイラストの審査結果を以下の通りお知らせします。

先月の民話「^{おろち}横辺田の^{たいじ}大蛇退治」のイラストに、16通の応募がありました。ご応募ありがとうございました。



【最優秀賞】

古川 麻衣 さん (御厨・大崎上、9)
「暗やみに浮かび上がる大蛇がとても怖く描けていますね。大きな口で丸呑みにされそうです」(カ)



【優秀賞】

清水 優希 さん (御厨・西木場、8)
「大蛇の目がとても怖く描けていますね」(カ)



【優秀賞】

中野 紗也加 さん (御厨・西木場、8)
「とても大きな大蛇が空を飛んでいるようです」(カ)



【優秀賞】

村尾 俊人 君 (御厨・西木場、7)
「舌を出して構えている大蛇が今にも飛び掛りそうです」(カ)



【優秀賞】

白石 優介 君 (御厨・西木場、9)
「あまりの怖さに娘さんも足がすくみ、魚も逃げています」(カ)